

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。

【研究課題名】	日本文化における「急性重症患者とシナジーを起こす看護実践」の特徴 — 二次的分析		
1. 研究の目的と方法	本研究は、急性・重症患者看護専門看護師を対象に 2022 年に実施されたフォーカスグループインタビュー（FGI）の逐語録を用いて、日本文化に根ざした「急性重症患者とシナジーを起こす看護実践」の特徴を明らかにすることを目的としています。逐語録はすでに匿名化されており、新たに対象者から試情報を収集することはありません。研究では、逐語録を質的に分析し、文化的文脈（例：察する、協調性、規律性など）が看護実践にどのように反映されているかを整理します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日までを予定しています。		
3. 対象となる方等	2022 年に実施された「急性重症患者とシナジーを起こす看護実践モデルの開発研究（第 1 研究）」において、フォーカスグループインタビューに参加した急性・重症患者看護専門看護師の逐語録データ。		
4. 研究に利用する 試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	急性・重症患者看護専門看護師によるフォーカスグループインタビュー逐語録（匿名化済み）、および属性情報（臨床経験年数、所属施設の種類、実践領域など）。	
	(4) 情報の取得の方法	過去に実施した先行研究にて取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 医学部看護学科 成人看護学領域
		氏名	坂木 孝輔
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	名古屋市立大学大学院 看護学研究科 教授 中村美鈴 (機関の長：窪田泰江)	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	本研究では新たな試料・情報の収集は行わず、2022 年に東京慈恵会医科大学において取得・匿名化されたフォーカスグループインタビュー逐語録（二次利用）を用います。指導教授が名古屋市立大学に異動されたため、研究指導を受ける目的に限り、当該逐語録データを東京慈恵会医科大学から名古屋市立大学へ、安全性		

	を確保したパスワード保護付きのクラウドストレージを介して共有します。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 11 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 医学部看護学科 成人看護学領域 研究責任者：助教 坂木 孝輔（さかき こうすけ） 電話番号：03-3480-1151（内線：73-2776） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：30

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。